

## ジェレミー・スタイグのフルートの先生だったペイジ・ブルック氏について

(ニューヨーク・フルートクラブのペイジのページへのリンクは英文から)

左記のニューヨーク・フルートクラブでのリサイタルは、前半が、ジェレミーのフルートの先生だったペイジ・ブルック氏とピアノおよびバイオリンによるクラシック音楽に続き、ジェレミーのフルートとエディ・ゴメス氏のベースのデュオによるジャズ、というジョイント構成でした。演目は、フルートとバイオリンのための二重奏曲ホ短調（ヴィルヘルム・フリーデマン・バッハ）、フルートとピアノのためのソナタ第2番（リチャード・レイン、この曲はペイジのために書かれた曲で、このリサイタルが初演）、フルートとピアノのための組曲(B. Antufeer)、コンサートエチュード（Tzibin, A-flat とだけ書いてあります）。後半は、マイルス・デイビスの Nardis に続き、Permutations、All is one、Waves となっています。

ペイジ・ブルック氏の演奏は CD や LP に収録されていますが、ご本人のサイン入りでジェレミーに贈られた CD に **New York Philomusica—Chamber Ensemble Paige Brook Performs French German Masterpieces for Flute by Debussy, Poulenc, Kirnberger, Gluck and Telemann** があります。是非お聴きになってみてください。下に CD の画像を掲載します。